

科目名	発達と学習の心理学 A, B	形態	講義	開講期	春・秋
担当教員	石牧 良浩	単位	2	年次	3

### ＝授業科目の目標＝

教師にとって大切なことは、児童・生徒について正しく理解することです。この授業では主に、「発達」と「学習」という2つの観点から、児童・生徒の心理にアプローチしていきます。その上で、どの発達段階でどのような教授法が有効なのか、また、発達に遅れがある子どもに対して、どのように接し、指導していくのかなど、教育現場での効果的な実践方法について受講者自信で考え、理解していくことを目指します。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

毎回、テキストの補助資料としてプリントを配布します。授業では、紹介した様々な心理学的知識をもとに、実際の教育現場での応用について考える時間を設けます。必要に応じて、小レポートで講義の内容を振り返っていただくこともありますので、毎回の授業終了後には各自で復習し、自分の意見についてきちんとまとめておいてください。また、座学だけでなく、公開されている映像、最新の資料などを用いて、できるだけ有意義で興味深い内容の時間にしたいと考えています。

授業中の私語は極力慎んでください。授業への積極的な参加を求めます。なお、配布プリントは枚数が多くなりますので、ファイルに綴じる、配られた順に通し番号を打つなど、管理をきちんと行ってください。

### ＝授業内容＝

- 1回 オリエンテーション：講義の目標と授業の進め方
- 2回 教育心理学とは
- 3回 発達と教育（1）：発達とは
- 4回 発達と教育（2）：発達段階理論
- 5回 発達と教育（3）：社会性と人間関係の発達
- 6回 発達と教育（4）：発達課題と教育
- 7回 動機づけ（1）：動機づけとは何か
- 8回 動機づけ（2）：動機づけの理論
- 9回 動機づけ（3）：学習への動機づけのアプローチ
- 10回 学習理論（1）：学習が生じるメカニズム
- 11回 学習理論（2）：学習を支えるメカニズム（記憶と知能）
- 12回 学習理論（3）：思考と問題解決
- 13回 発達障害の理解と支援（1）：自閉症スペクトラム障害の特徴とその支援
- 14回 発達障害の理解と支援（2）：注意欠陥／多動性障害と学習障害の特徴とその支援
- 15回 まとめ

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

成績評価は、以下の総合評価とします。

- (1) 筆記テスト：持ち込み不可。教職教養に関する基本事項です。
- (2) ミニレポート：授業内で課されるミニレポート。授業時間内に作成し、提出。  
欠席の場合、後から提出してもOKです。
- (3) 授業態度

### ＝テキスト（必携）＝

松原達哉編 教育心理学, 丸善出版